

帖佐人形 ーちょうさにんぎょうー

帖佐人形の由来

AIRA-CITY HISTORY FOLKLORE MUSEUM

素朴で郷土色豊かな帖佐人形は、鹿児島県の土人形を代表するものとして有名です。その起源はさだかではありませんが、高樋で作られていたことから高樋人形ともいわれています。

最盛期の大正年間には、約40窯を数え、全国にその名が知られていました。昭和の初め頃にいったん途絶えていましたが、昭和40年、帖佐人形保存会によって復活しました。



神功皇后

武内宿禰

土人形の生産地

AIRA-CITY HISTORY FOLKLORE MUSEUM

県内では以前、垂水人形、東郷人形、宮之城人形、向花人形(霧島市)など、帖佐以外の場所でも人形が生産されてきました。垂水人形は最近、保存会によって復活しています。また宮崎県では佐土原人形が有名です。



武者

山姥

人形の製作過程

AIRA-CITY HISTORY FOLKLORE MUSEUM

原料の粘土は高樋周辺のものを使います。(写真右から)

- ①型入れ: 粘土を型に入れ、取り出した後、表裏を合わせる。
・乾燥: 2~3ヶ月陰干しする。
- ②素焼き: 竹の枝を燃料に、窯で半日ゆっくりと焼く。
- ③下地塗り: 胡粉(白い粉)を人形全体に刷毛で塗る。
- ④絵付け: 岩絵の具をニカフで溶いて色を付ける。



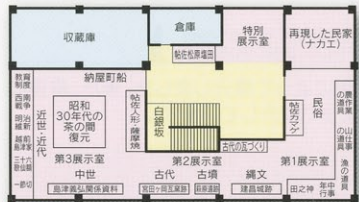
④

③

②

①

館内案内図



交通案内

- ・JR JR日豊本線帖佐駅下車徒歩10分
- ・バス 帖佐駅前バス停下車徒歩5分
- ・自動車 鹿児島市街地から30分・鹿児島空港から30分
- ・九州縦貫自動車道 始良インターチェンジから15分

施設概要

- ・開館 昭和63(1988)年1月30日
- ・敷地面積 1,987.24㎡
- ・建物構造 鉄筋コンクリート造2階建
- ・建築面積 458.51㎡
- ・延床面積 884.14㎡(1F:31㎡ 2F:347.9㎡)
- ・駐車場 乗用車10台、マイクロバス3台収容
- ・その他 身障者用玄関スロープ、トイレ、身障者用リフト、車椅子1台



身障者用リフト

観覧にあたってのお願い

- ・展示室では、インク・墨類を使用しないでください。
- ・館内では、飲食や所定の場所以外での喫煙はご遠慮ください。
- ・館内では、静かにご観覧ください。
- ・館内での撮影は、所定の手続きをおとりください。

始良市 歴史民俗資料館

AIRA-CITY HISTORY FOLKLORE MUSEUM

〒899-5421 鹿児島県始良市東餅田498番地

Tel.0995-65-1553 Fax.0995-66-5820

URL : <http://www12.synapse.ne.jp/aira-museum/>

■開館時間

9:00-17:00(入館16:30まで)

■休館日

月曜日(月曜日が祝日・振替休日の場合はその翌日)
毎月25日(日曜日は除く) 年末年始(12月29日~1月3日)

■入館料

区分	個人	団体(15名以上)
一般・大学生	210円	160円
小学・中学・高校生	100円	50円

始良市 歴史民俗資料館

AIRA-CITY HISTORY FOLKLORE MUSEUM

ふるさとの歴史が見える



趣旨 POINT AIRA-CITY HISTORY FOLKLORE MUSEUM

郷土の歴史とともに今に伝わる有形無形の文化財は、わたしたちの祖先が長い年月をかけて生み出し、守り、育ててくれた貴重な財産です。わたしたちはこれを十分に活用し、次の世代へ伝える義務があります。始良市では、郷土の歴史や民俗に関する資料を収集・保存し、展示するための施設として始良市歴史民俗資料館を建設しました。



地形模型

館のオリエンテーションルームにあたる1階には、市内の史跡や主要施設、主な観光地などがひと目で分かる地形模型があります。

- その他の展示／・始良市の航空写真 ・郷土の玩具

ビデオコーナー VIDEO CORNER AIRA-CITY HISTORY FOLKLORE MUSEUM

市内の民俗芸能や年中行事を季節ごとに入れかえて上映しています。



■ビデオタイトル

- ・帖佐八幡神社の浜下り
- ・中津野のモグラウチ
- ・住吉の金山踊り
- ・春花の太鼓踊り
- ・宮脇の田の神講
- ・始良町の田の神
- ・宮脇の十五夜綱引
- ・船津の十五夜綱引
- ・炭焼きの仕事
- ・始良町の指定文化財
- ・吹が出来るまで
- ・お茶作り
- ・入浜塩田の作業
- ・瓦の歴史
- ・別府川の魚と漁法



上名の棒踊り



宇都のオネツク



帖佐人形

民俗 FOLKLORE AIRA-CITY HISTORY FOLKLORE MUSEUM

2階は、展示のメインとなるフロアです。ここではまず、昔の民家と様々な道具類、人々のあいだで行われた信仰の一部、今に伝わる年中行事や民俗芸能などを紹介します。



タバコボン(煙草盆)



イトグルマ(糸車) 持ち回りのタノカンサア



- その他の展示／・農作業の道具 ・山仕事の道具 ・漁の道具
- ・民間信仰 ・年中行事 ・民俗芸能 他



上場の庚申供養塔(拓本)

原始・古代 PRIMITIVE AND ANCIENT TIME AIRA-CITY HISTORY FOLKLORE MUSEUM



建昌城跡(縄文)出土遺物



国史跡 宮田ヶ岡瓦窯跡 第1・2号窯跡(左)・第3号窯跡(右)



刻書土器(小瀬戸遺跡)



軒平瓦

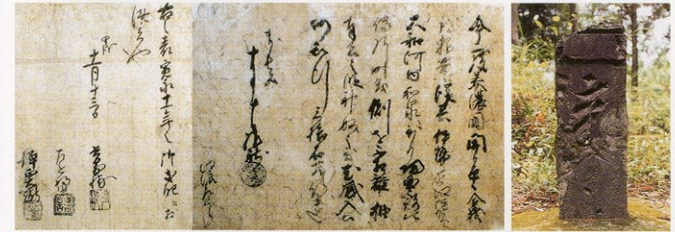


軒丸瓦

市内の遺跡から発掘された出土品を年代順に展示し、当時の人々の営みを探ります。

中世 MIDDLE AGES AIRA-CITY HISTORY FOLKLORE MUSEUM

鎌倉時代から室町・戦国時代までの史跡や出来事を写真や文書で紹介しています。



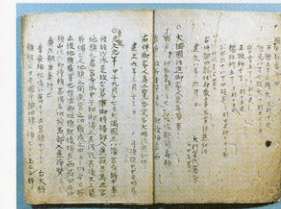
島津義弘の感状

諏訪山板碑

- その他の展示／・建治石築地配符(複製) ・山田城攻撃の図 ・島津義弘画像(複製)
- ・帖佐氏日記(写本) ・建昌城跡出土品 ・建久図田帳(複製) ・岩剣城跡模型
- ・関ヶ原合戦図屏風(複製)

近世 EDO PERIOD AIRA-CITY HISTORY FOLKLORE MUSEUM

江戸時代には、帖佐・重富・山田・加治木・蒲生の各郷に分かれており、その当時の絵図や麓集落の写真を展示しています。



帖佐来歴(市指定)



鍋倉銅山製鉄所絵図(複製)



元立院・黒蛇鍋軸茶碗



一節切(市指定)

- その他の展示／・城野神社本殿絵巻 ・薩摩焼(西餅田系) ・重富一所之地絵図 ・古帖佐焼宇都窯跡出土品 ・帖佐八幡神社三十六歌仙額(市指定)

近代 MODERN TIMES AIRA-CITY HISTORY FOLKLORE MUSEUM

帖佐松原塩田の往時の姿を模型によって復元しました。また、舟運に活躍した納屋町船を拡大写真によって紹介しています。



昭和30年代の茶の間(復元)



帖佐村宮製塩場

- その他の展示／・納屋町船 ・振業館蔵書 ・西南戦争の旗 ・勝海舟の書 ・戸長辞令
- ・昔の教科書 ・帖佐松原塩田模型